

一般質問

掲載の6項目を含め14人の議員が57項目の質問を行い、町長の考えをたどしました。

アスベスト対策

調査結果と今後の対応は

現在、分析をしている

質問 国の検査基準で調査すべき、十一施設、十六カ所の調査結果と今後の対策、その公表はどのようにするのか。

答弁 アスベスト含有の可能性のある十一施設より十六検体採取し、検査を行っている。検査結果は判明次第公表する。また、健康相談は保健センターで、住宅解体建材などの相談は建設課で対応する。



実施計画は大丈夫か

財政の健全化に向けて策定

質問 実施計画の中でも公共施設の保守、維持管理や、人事に関する計画および指定管理者制度の導入は大丈夫か。

答弁 公共施設の保守、維持管理は含まれていないが、時機を失して多大な修繕費用を要しないよう留意し、定期点検などを行いながら施設の管理に当たる。人事は、退職者数に対する補充調整を行う。指定管理者制度導入は、「公共性、公益性の確保」、「住民サービスの向上」、「効率性の向上」の三つの柱を踏まえて、具体的に検討をしている。

行財政改革

しっかり頼むよ





消防団の小型ポンプ車

防 災

火災発生時の消火対策は

ホースの延長で対応

質問 道路が狭く消防車両の入れない地区の対応はどうするのか。

答 弁 該当する地区には消防ポンプで車からのホース延長により対応する。

住宅密集地区などには「警防計画」を作成し活動方針を定め、災害活動に万全を期している。

浸水対策

排水能力アップの早期実現を

二本立てで検討する

質問 台風十四号の時、尾崎川が氾濫したが消防団の出勤で民家への浸水は免れた。今後降雨量によっては大きな被害が予測される。

また、海田高校付近は川の悪臭に悩まされており、排水能力のアップと共に浄化対策を早期にする必要があるが、どのように取り組むのか。

答 弁 広島県から、ポンプ増設の早急な実施は財政的に困難なため、護岸の嵩上げによる越水防止の緊急的な対策と、財政状況に見合った段階的なポンプ整備の二本立てで検討する旨の回答があった。

また、浄化対策は来年度から瀬野川の水を流入させる尾崎川導水計画を県が実施する予定である。



堀川ポンプ所



エッチラ オッチラ

バリアフリー

JRとの協議を早く 前向きに検討

質問 海田市駅のエレベーター設置など、バリアフリー化に向けてJR西日本との具体的な協議を早く始めてはどうか。

答弁 海田市駅へのエレベーターの先行設置はJR西日本も前向きに検討をしたいとの考えである。町としては、それを含めた駅周辺のバリアフリー化などの計画を策定中で、計画案がまとまり次第、JR西日本と本格的に協議を行う。

介護予防サービス

本町の取り組みは

自立支援の事業を推進する

質問 予防重視の改正介護保険法が成立し、各自治体はプランの作成などを行い、地域支援事業の実施が必要である。介護予防サービスが効果を上げれば、高齢者の健康寿命が延び、さらに保険料の上昇の抑制も期待できる。本町の取り組みはどうか。

答弁 福祉センターに、筋力トレーニング機器などを導入し、運動機能の向上、栄養改善などのメニューによる予防教室を実施する予定である。さらに、軽度要介護者の重度化を防ぐサービスは、介護保険サービス事業所が行い、元気で活力ある高齢者が増えるよう、事業を推進する。



お気軽にご利用ください